

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	915.50	2022/10/10
High	915.50	2022/10/10
Low	863.50	2022/10/13
Close	903.20	2022/10/14

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4279.00	2022/10/10
High	4331.00	2022/10/14
Low	4084.00	2022/10/13
Close	4319.00	2022/10/14

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2193.00	2022/10/10
High	2272.00	2022/10/10
Low	1983.00	2022/10/14
Close	1994.00	2022/10/14

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	10239.00	2022/10/10
High	10632.00	2022/10/10
Low	9487.00	2022/10/14
Close	9535.00	2022/10/14



ニュースエクスプレス

ロシアの鉱山大手への制裁、メタル産業に及ぼす影響大

ロンドン金属取引所がロシア産のメタルの取引禁止に踏み切れば、世界最大の企業を世界市場から締め出すことになり、メタル業界にとっては重大な事態を引き起こしかねない。

同取引所はその決定をまだ下してはいないが、早ければ来月からロシア産メタルを禁じるかどうかについて、10月13日から3週間にわたる正式な話し合いを開始した。

禁止となれば、先物商品の決済時に使われる現物として世界中のLMEネットワークの倉庫に送られるメタルにロシア産メタル（世界のニッケル生産の約9%、アルミニウムの5%、銅の4%）が含まれないことになる。

LMEの決定は倉庫への現物の流れだけでなくそれ以外にも様々な影響を及ぼす。例えば、トレーダーと消費者間のコントラクトには、メタルは「LME デリバリー可能ブランド」と指定されているものもあり、LMEの制裁措置によって契約が無効になることもあり得る。

また銀行も、問題が生じた場合に容易に取引所で売却できる保証がある「LME デリバリー可能ブランド」のメタルを融資先とすることを望む場合が多い。多くのトレーダーも、現物のインベントリーに対するヘッジとしてLMEのコントラクトを使うのは、単純にメタルをLMEに受け渡しすればヘッジを手仕舞うことができるという利点があることが大きい。

LMEの出方によっては、ルサル、ノリリスクニッケル、さらに彼らの大手顧客に頭の痛い問題となる。特にグレンコア Plc はコモディティグレードのニッケルを大量に数年間にわたってロシアから買い付ける契約を結んでいる。

関係筋によると、LMEがコンサルティング期間を開始したことで、ルサルやノリリスクニッケルの顧客は、既にメタルを担保として運転資本を借入れることが難しくなっている。

販売契約締結に重要なこの時期に先行きに対する不安を与えるという意味で、LMEの制裁措置でロシア企業は低い売値で契約せざるを得ないなど、コンサルティングそのものがノリリスクニッケルの欧州での販売に大きな打撃を与えかねない。

ノリリスクニッケルCEOのVladimir Potanin氏は、制裁によって欧州で現在の販売網の維持ができなくなる場合にはアジアに商品向けることを考えていると、9月のRBC TVとのインタビューで語っている。

<https://www.miningweekly.com/article/how-a-ban-on-russias-mining-giants-could-shake-the-metals-world-2022-10-10>

Tharisa、ジンバブエのプラチナ鉱山に3億9100万ドルの投資

ロイターによると、南アフリカの鉱山会社 Tharisa は、ジンバブエの Karo PGM鉱山の開発に3億9100万ドルを投資する計画。

同社は現在、グレートダイクのKaro PGM鉱山を所有する Karo Mining Holdingsの株を70%保有している。

Karo PGM鉱山は首都ハラレから南西に100キロの位置にあり、生産可能な量は年間で6.03トン。鉱山建設の第一段階は今年12月に始まる予定で、完了予定は2024年7月。

Tharisaのチーフエグゼクティブ Phoevos Pouroulis氏は、今後2年の間に露天掘りとなるKaro 鉱山からの鉱石が工場加工されるだろうとしている。

「我々は既にライセンスも取得し、採掘も許可された。規模が大きく、露天掘りでローコスト、数段階を経る今回の計画は鉱山開発としてはローリスクと考えている。」

<https://www.mining-technology.com/news/tharisa-zimbabwe-platinum/>

Translated by JBMA Osawa KAZUKO



WPIC直近の活動

➤ プラチナの地上在庫は既に消費されているか、価格が高騰するか、あるいは中国国内に留まるかで、供給不足となっても価格上昇の足を引っ張ることはないだろう。詳しくは「プラチナ展望 2022年10月号 プラチナの供給不足が予測される中、地上在庫はプラチナ価格上昇の大きな障害にはならない」をご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/investment-research/perspectives>

➤ ミインフレ削減法、グリーン水素製造と燃料電池自動車の普及を促進プラチナ需要に追い風。詳しくは「プラチナ豆知識「プラチナにチャンス到来」(2022年10月5日)」をご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum>

免責事項: 本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。

